

はちのへ文化のまちづくりプラン推進状況一覧

<施策1>ふれる・ふかめる～文化芸術に親しむ～

【施策の基本的な考え方】

1. 市民による主体的で多彩な文化芸術活動の振興と文化芸術に親しむ環境づくり
2. 教育現場や地域において子どもたちが文化芸術に親しむ環境づくり
3. 文化施設における、鑑賞、参加・体験、創造の場など文化プログラムの充実

○取組方針1 市民による多彩な文化芸術活動振興のための仕組みや枠組みの構築

① 現在取り組んでいる主な事業

文化協会補助金、文化団体等出演補助金、演奏会補助金、先駆的・実験的取組を支援するはちのへ文化のまちづくり推進事業補助金などの財政支援を通して市民による文化芸術活動の振興。

② 今後の方向性の現状と課題（実施済み／一部実施済み／検討中／未着手 以下同じ。）

ア) 市民による文化芸術活動の振興に関する補助や支援制度の充実／検討中(R5)→実施済み(R6)

・はちのへ文化のまちづくり推進事業補助金の3つのメニュー（文化芸術活動支援、演奏会補助、大会等出演補助）で補助を実施（文化創造推進課）

イ) 文化芸術団体等と連携した文化芸術活動の認知や参加の輪を広げるための機会創出の検討、開催支援（アートフェスティバル等）新規／実施済み(R5)→実施済み(R6)

・令和6年4月13日から9月1日までの日程で、AOMORI GOKAN アートフェス 2024を開催（美術館）

・令和6年10月12日、13日の日程で、三陸国際芸術祭を開催（文化創造推進課）

ウ) 文化芸術の振興に資する活動への表彰制度の見直しの検討新規／未着手(R5)→検討中(R6)

・より幅広い層（特に若年層）から、候補者の推薦を挙げてもらうため、文化団体への照会、市の広報・ホームページでの募集等に加え、市内の大学・高等学校等に照会を実施予定。

また、他都市、スポーツ等の他分野の制度を参考に、現行の推薦制に限定しない表彰制度を検討（文化創造推進課）

○取組方針2 子どもたちの文化芸術の鑑賞や学びの機会の充実

① 現在取り組んでいる主な事業

八戸イカール国際音楽祭、小中高校連携事業（美術館）、パフォーミングアーツ、子育てつどいの広場事業などを通して、子どもたちへの学びの機会の充実を図っている。

② 今後の方向性の現状と課題

ア) 文化施設が行う鑑賞機会の充実、教育普及（ラーニング）プログラムのメニュー化による周知や、幼稚園や学校、地区公民館に出向いて行うアウトリーチ型事業の実施／

実施済み(R5)→実施済み(R6)

・パフォーミングアーツ事業実施の際、希望する学校にアーティストが出向き授業を実施

(八戸ポータルミュージアム(以下「はっち」と表記))

- ・小・中学校が要望するテーマに応じ、学芸員が実物資料を持参し、講義や体験学習を実施

(博物館)

イ) 美術教育について教員と美術館学芸員が共同研究し、企画段階から効果的な教育普及(ラーニング)プログラムを実践する美術館学校連携事業／実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・小中高の教員、専門家、美術館学芸員による学校連携プロジェクトチームを構成し、学校現場で活用しやすいプログラムや教材の開発・実践・発表などを実施(美術館)

ウ) 幼児教育(保育)施設や学校等での活動を希望する文化団体や文化芸術活動者の見える化と、文化芸術の体験や鑑賞、部活動での人材活用を希望する学校とのマッチング事業の実施<再掲・施策6(1)関連>／検討中(R5)→検討中(R6)

- ・施策6の八戸アートプラットフォームの中で検討を進める予定。また、市教育委員会も中学校の部活動の地域移行にかかる検討会議を設置しており、連携して取り組む

(文化創造推進課)

○取組方針3 文化施設の文化プログラムの充実と連携

① 現在取り組んでいる主な事業

美術館、はっち、ブックセンター等での各種企画事業、指定管理者の企画による文化事業、地区公民館運営事業、博物館による出前講座・出前授業・展示解説、古文書解説講習会など、各施設の特色を活かし取り組んでいる。

② 今後の方向性の現状と課題

ア) 鑑賞、参加・体験、創造・発信型プログラムや、教育普及(ラーニング)プログラムの充実、学校や地域に出向いて行うアウトリーチ型事業の実施等に関する施設特性に応じた検討、実施
／一部実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・パフォーミングアーツ事業実施の際、希望する学校にアーティストが出向き授業を実施

(はっち)

- ・八戸イカール国際音楽祭の際、市内公民館及び更上閣に出向いてアウトリーチを実施

(文化創造推進課)

イ) 施設間連携のための仕組みづくり<再掲・施策6(1)関連>／検討中(R5)→実施済み(R6)

- ・更上閣にぎわい広場、美術館、はっちの3施設で回遊して楽しめる音楽イベント「ヨルニワ」を開催(文化創造推進課、美術館、はっち)

ウ) 教育旅行の誘致や文化施設と商業機能の連携した取組の実施<新規>／

一部実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・更上閣及び更上閣にぎわい広場を会場に、キッチンカーや、中心街の飲食店等に出店してもらい、更上閣ガーデンレストラン事業を実施(文化創造推進課)

- ・横丁関係団体が連携し、八戸の観光資源である「横丁」の魅力を内外に発信。(はっち)

- ・八戸圏域の観光コンテンツの造成支援及び磨き上げを行い、観光誘客の促進を実施

(VISIT はちのへ)

エ) 文化施設の適切な維持補修やバリアフリー・ユニバーサルデザインへの取組／

一部実施済み(R5)→一部実施済み(R6)

- ・ 公共施設マネジメントに向け、施設ごとに個別施設計画を策定し、計画的に補修・修繕等を実施（文化創造推進課、美術館、はっち、博物館、図書館、是川縄文館）

<施策2> つくる・いどむ～新たな創造への取組

【施策の基本的な考え方】

1. 地域課題の解決や地域の潜在力や魅力を引き出すアートプロジェクトの実施
2. 文化芸術とクリエイティブビジネスとの連携による双方の振興を図る
3. よりクリエイティブに文化芸術（事業）の発信力を高める取組の実施

○取組方針1 「アートのまちづくり」の推進と文化創造へのチャレンジ

① 現在取り組んでいる主な事業

先駆的・実験的取組を支援するはちのへ文化のまちづくり推進事業補助金、うみねこ演劇塾、「はっち」AIR事業、美術館アートプロジェクトなど、多方面からのアプローチにより市民による文化芸術活動の振興を図っている。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 「はっち」のレジデンス機能を活用した、アーティスト、クリエイター、リサーチャー、ライターなどによるレジデンス事業／実施済み(R5)→実施済み(R6)
- ・各施設において取り組んでいるが、更なる拡充を検討する必要がある（文化創造推進課、ブックセンター、美術館、はっち）
- イ) 市外からのプロフェッショナル人材と地域人材との交流・市民参加によるダンスや芝居などの実演芸術・劇場文化の創造と発信／一部実施済み(R5)→実施済み(R6)
- ・「はっち」のパフォーミングアーツ事業における実演芸術の発信（はっち）

○取組方針2 クリエイティブビジネスの振興

① 現在取り組んでいる主な事業

八戸ブックセンターにおける出版事業の検討や、大学による「アート思考・デザイン思考」実践講座事業の実施など。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 先進事例等の調査によるクリエイティブビジネス振興策の検討<<新規>>／実施済み(R5)→実施済み(R6)
- ・ブックセンターが出版元となる機能を持ち、文化施設との連携により図録等を出版し、ブックセンター及び民間書店等での販売を行う（ブックセンター）
 - ・令和6年7月19日開催の「はちのへアート広場」ひろば交流会において、「クリエイティブビジネスの振興」をテーマとしたセミナーを開催し検討を進める（文化創造推進課）
- イ) 産業、観光等、他分野との地域文化の持続可能性を高める取組の推進<<新規>>／一部実施済み(R5)→一部実施済み(R6)

- ・市内各大学の専門性と美術館の専門性を融合させ、新たな価値や活動を生み出すアートの学びの提供により、人材育成や地域経済の活性化に繋げる（美術館）

○取組方針3 発信力強化とファンづくり

① 現在取り組んでいる主な事業

文化施設情報を集約した「八戸アート情報」を、SNS 及び地域情報誌への掲載により周知、オンラインチケットサービスの導入

② 今後の方向性の現状と課題

ア) 八戸地域の文化芸術に関するイベント情報の多様な情報媒体を活用した発信「新規」／

一部実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・ SNS 及び地域情報誌を活用した文化芸術イベントの情報発信の実施（文化創造推進課）
- ・ 八戸歴史文化発信事業実行委員会（事務局：八戸クリニック街かどミュージアム）と美術館が連携し、文化イベント情報を紹介・連携する取組を行う（美術館）

イ) 実施されたイベント内容や文化芸術に携わる人等にスポットを当てた情報誌の発行「新規」／

検討中(R5)→検討中(R6)

- ・ 他都市の状況を調査し、施設の枠を超えた総合的な情報誌の発行について検討中（文化創造推進課）

ウ) チケットのインターネット販売の導入「新規」／実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・ 美術館における観覧者の利便性向上のため、キャッシュレス決済及びオンラインチケットサービスの導入（美術館）

<施策3> まじる・まざる～文化芸術による共生～

【施策の基本的な考え方】

1. 年齢、障がい、外国人等、全ての利用者にとって優しい施設となる環境づくり
2. 障がい者や外国人等への鑑賞、参加・体験、創造の機会の場など文化芸術活動における社会包摂機能の発揮
3. 文化芸術をきっかけとした国際交流の取組の推進

○取組方針1 共生社会の実現に向けた環境づくり

① 現在取り組んでいる主な事業

市公民館のホール座席段差解消・トイレ改修工事、ホール（公会堂、市公民館、南郷文化ホール）座席の抗菌・抗ウイルス作業実施、美術館多目的トイレ設置、点字案内板設置、車椅子に配慮した水飲み機の設置、性的マイノリティへの対応可能なトイレ設計など、利便性と安全性が高い環境整備を実施。

② 今後の方向性の現状と課題

ア) 文化施設のバリアフリー・ユニバーサルデザインへの取組／一部実施済み(R5)→一部実施済み(R6)

- ・ 公共施設マネジメントに向け、施設ごとに個別施設計画を策定し、計画的に補修・修繕等を実施（文化創造推進課、ブックセンター、美術館、はっち、図書館、博物館、是川縄文館）
- イ）文化施設における案内や解説等の多言語化対応の推進／一部実施済み(R5)→一部実施済み(R6)
 - ・ 未対応の箇所については、計画的に対応していく（文化創造推進課、ブックセンター、美術館、はっち、図書館、博物館、是川縄文館）
 - ・ 多言語観光情報サイト『Guidoor（ガイドア）』の機能を活用した QR コード読み込みによる展示解説の多言語化を実施（はっち）
- ウ）外国人住民に向けた地域の文化イベントや文化財に関する情報提供／未着手(R5)→検討中(R6)
 - ・ 施策2の情報発信とファンづくりの取組において実施予定（文化創造推進課、社会教育課）
 - ・ 令和6年10月12日～13日に八戸市において開催される三陸国際芸術祭三陸芸能大発見サミットの情報発信を実施予定（文化創造推進課）
- エ）障がい者の鑑賞等におけるバリアフリーの検討＜新規＞／未着手(R5)→未着手(R6)
 - ・ 他都市の調査や福祉関係者にヒアリング等により、今後、ホール指定管理者とともに事業実施に向けた具体的な検討を行う（文化創造推進課）

○取組方針2 社会包摂の取組の推進

① 現在取り組んでいる主な事業

美術館ジャイアントルームの自由利用の促進、子育てつどいの広場事業「オレンジデー」の実施、NHK ハート展の実施、愛の輪レクリエーション事業補助金による財政支援、日本語教育支援事業などに取り組んでいる。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア）文化施設のサードプレイスとしての運営、居場所づくり／一部実施済み(R5)→実施済み(R6)
 - ・ はっち、美術館、ブックセンターを中心にサードプレイスとしての空間を提供（はっち、美術館、ブックセンター）
- イ）障がい者による文化芸術の鑑賞や参加、創造活動の充実を図る取組の推進や文化芸術を通じた交流等の促進＜新規＞／一部実施済み(R5)→一部実施済み(R6)
 - ・ 障がいのある方々への関心と理解を深めもらうとともに、障がいのある方々が文化活動に広く参加することを促進するため、NHK ハート展、であうアート展を実施（障がい福祉課）
 - ・ 障がいのある人もない人も踊りと音楽でつながる企画「盆踊りディスコ」を令和6年8月23日に実施予定（はっち）
- ア）外国人住民が地域文化に理解を深める機会の創出やホスピタルアートなどの文化プログラムを検討＜新規＞／未着手(R5)→未着手(R6)
- イ）社会包摂的文化プログラムの実施にかかる専門人材の確保、育成＜再掲・施策5(1)関連＞／未着手(R5)→未着手(R6)
 - ・ 施策6のプラットフォームの中で検討を進める予定（文化創造推進課）

○取組方針3 文化芸術を通じた国際交流の推進

① 現在取り組んでいる主な事業

三陸国際芸術祭事業、青少年海外派遣交流事業などを実施

② 今後の方向性の現状と課題

ア) 三陸国際芸術祭の推進／実施済み(R5)→実施済み(R6)

・今後も、伝統芸能を入口にした三陸とアジアの国際交流事業を実施していく（文化創造推進課）

イ) 美術館や「はっち」等の展覧会企画やA I Rを通した外国人アーティストの招聘／

未着手(R5)→未着手(R6)

・外国人アーティストとの交流は異文化理解の契機であり、また「外」からの刺激は思いがけない気づきや新しいものを生み出す機会となることから検討する（美術館、はっち）

ウ) 市民主催の外国人アーティスト招聘事業等の支援《新規》／一部実施済み(R5)→一部実施済み(R6)

・これまでの実績を踏まえ、制度内容や支援策の見直しを検討する（文化創造推進課）

<施策4>のこす・いかす～伝統の継承と活用～

【施策の基本的な考え方】

1. 是川石器時代遺跡の未来に向け新たな価値を追求し活用する取組を推進
2. 生活文化や伝統文化等に触れられる体験機会の創出、発信の取組を推進
3. 文化財の保存と活用を通して、市民や観光客等が文化財の価値を正しく認識し、親しむ機会の充実を図る

○取組方針1 世界遺産・是川石器時代遺跡の適切な保存と価値の伝達

① 現在取り組んでいる主な事業

世界遺産保存活用、世界遺産PR事業（旅行誌等記事掲載、ラッピングバス、小学校副読本作成）、特別展・企画展での教育普及事業、縄文の里整備のほか、地域DMOである「一般財団法人VISITはちのへ」において観光誘客に取り組んでいる

② 今後の方向性の現状と課題

ア) 史跡是川石器時代遺跡整備基本計画の推進／実施済み(R5)→実施済み(R6)

・史跡指定地の公有化の推進、史跡内既存施設の解体撤去、多目的広場の整備の実施（是川縄文館）

イ) 小中学生や市民を対象とした縄文の生活体験、縄文の工芸体験・道具づくりをはじめとした各種講座や実体験などの教育普及事業の充実／一部実施済み(R5)→一部実施済み(R6)

・体験学習や各種講座、講演会を開催（金沢大学との共同研究を実施（是川縄文館））

ウ) 観光地域づくり法人の（一財）VISITはちのへと圏域事業者で取り組む、観光客の来訪・滞在促進を図る誘客プログラム（観光商品）の充実及び情報発信《新規》／実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・英・仏・台に現地エージェンシーを配置し、そのエージェンシーを通じて現地旅行会社やメディア等へ八戸圏域の魅力をPRするなど認知拡大を図るための活動実施（観光課）

○取組方針２ 地域に根ざす文化の継承と発展

① 現在取り組んでいる主な事業

八戸小唄まつり事業補助金、南部昔コ語り部養成講座、南郷ジャズフェスティバル開催事業、八戸三社大祭関連事業、八戸えんぶり関連事業、物産販売促進事業、農業ブランド育成事業（伝統野菜関連事業）、郷土食・行事食を取り入れた学校給食の提供など、多分野にわたり取組を推進している。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 伝統文化の現状に関する悉皆調査とデータベース化及び調査を基にした伝統文化継承における課題の抽出と対応の検討／一部実施済み（R5）→一部実施済み（R6）
 - ・各種文化財等の適切な保存・管理を実施し、積極的な公開・活用の促進（社会教育課）
- イ) 八戸三社大祭、八戸えんぶりなど担い手側へのハード・ソフト両面からの参加しやすい環境づくりの推進＜新規＞／一部実施済み（R5）→一部実施済み（R6）
 - ・山車人形衣装修理事業、八戸三社大祭・八戸えんぶりの開催にかかる活動経費の補助を実施しており、継続実施していく（観光課、社会教育課）
 - ・旧柏崎小学校跡地広場整備事業において、山車制作展示施設（全6棟）が令和6年3月に完成。同年7月31日供用開始予定（観光課）
- ウ) 伝統文化の新たな価値を追求し継承を図る取組への支援＜新規＞／一部実施済み（R5）→一部実施済み（R6）
 - ・民俗芸能団体の技術向上や伝承活動の活性化を図るための公演会や、各地域に残る無形民俗文化財を後世へ継承するため補助金による支援を実施しており、継続実施していく（社会教育課）

○取組方針３ 文化財の保存と活用

① 現在取り組んでいる主な事業

南部氏庭園事業、清水寺観音堂保存修理事業、名勝種差海岸保護事業、天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地保護事業、古文書の解読整理、埋蔵文化財の保存・活用事業など、多岐にわたり取組を推進している。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 当市文化財の総合的な保存・活用に係る計画の策定＜新規＞／検討中（R5）→検討中（R6）
 - ・史跡長七谷地貝塚及び史跡丹後平古墳群の保存管理計画の策定及び、策定体制の整備（社会教育課）
- イ) ユニークバニユーの検討＜新規＞／実施済み（R5）→実施済み（R6）
 - ・国の登録文化財「更上閣」でのガーデンレストラン事業の実施（文化創造推進課）
- ウ) 博物館等の文化施設における小中学生を対象とした体験学習などの開催／実施済み（R5）→実施済み（R6）

- ・博物館では館内での体験学習や、学芸員が学校に出向いて行う出前授業など、ニーズに合わせた学習を提供しており、継続実施していく（博物館、是川縄文館）
- ・八戸圏域文化財魅力発信事業における「文化財バトルカード」の配布、出前事業、体験ブース出店、遊び方動画制作・公開を実施（社会教育課）

＜施策5＞つなぐ・ささえる～担う人・支える人の確保・育成～

【施策の基本的な考え方】

1. 文化政策において求められる幅広い専門人材の確保と育成
2. 中間支援機能を持つアート NP0 やアーツカウンシル等の設立に向けた支援
3. 文化ボランティアなど多様な担い手・支え手が活躍する環境づくり

○取組方針1 専門人材の確保、育成

① 現在取り組んでいる主な事業

民俗芸能のタペ開催事業、無形民俗文化財後継者養成補助金、古文書解読講習会を実施。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 文化継承や文化創造に係る取組をより充実させるための専門人材の確保・育成＜新規＞／検討中(R5)→検討中(R6)
 - ・文化政策の推進に必要なスキルを持った専門人材の確保・育成を検討中（文化創造推進課）
- イ) 社会包摂的文化プログラムの実施に係る専門人材の確保・育成＜新規＞／検討中(R5)→検討中(R6)
 - ・ホールでの舞台芸術事業の企画立案、事業のコーディネートができる専門人材の確保を検討中（文化創造推進課、はっち）
- ウ) 生活文化、方言、伝統文化、文化財に係る専門知識・技能を有する人材の確保・育成＜新規＞／未着手(R5)→未着手(R6)
- エ) 学校等へのアウトリーチ事業に係るコーディネーターの育成＜新規＞／検討中(R5)→検討中(R6)
 - ・アウトリーチ事業の企画立案ができる人材の確保・育成を検討中（はっち）
- オ) 大学等と連携した専門人材育成プログラムの検討＜新規＞／未着手(R5)→未着手(R6)（文化創造推進課）

○取組方針2 中間支援機能の強化

① 現在取り組んでいる主な事業

各文化施設において市民等の活動を支援する中間支援的取組は実態としてあるものの、求められる役割や機能を明確にした取組となっていない。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 民間文化団体の中間支援機能の充実や中間支援型組織の設立・活動支援のための検討＜新規＞

／検討中(R5)→検討中(R6)

- ・施策6のプラットフォームの中で検討を進める予定。
- ・令和6年6月29日開催の「はちのハートフォーラム」ではアーツカウンシルに詳しい講師による講演会を開催する（文化創造推進課）

イ) 公共文化施設における中間支援組織型の取組の充実（「はっち」の協働や拠点づくりなどの取組）≪新規≫／検討中(R5)→検討中(R6)

- ・各種講座等を実施するなど、検討を始めている（はっち）

○取組方針3 文化ボランティアの活動振興

① 現在取り組んでいる主な事業

美術館のアートファーマー、「はっち」・博物館・是川縄文館のボランティアガイドのほか、「はっち」の事業である「まちぐ（る）み」事業を実施。

② 今後の方向性の現状と課題

ア) 各文化施設のボランティア研修の実施やボランティアによる自主的活動への支援／

実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・ボランティア研修は全施設で実施しており、自主的活動が活発になるよう支援内容を検討していく（美術館・はっち・博物館・是川縄文館）

イ) 市民集団「まちぐみ」事業／実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・アーティスト山本耕一郎組長のプロデュースにより、気軽にまちづくりに参加できる場と機会を創出しながら、中心商店街と連携した事業を企画・実施している（はっち）

ウ) 美術館「アートファーマー」事業≪新規≫／実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・美術館を起点にアートを介して地域社会を育む様々な取組を、アートファーマー（市民等）との協働により実施する（美術館）

<施策6> あつめる・ひろめる～連携のソフトインフラ～

【施策の基本的な考え方】

1. 八戸ならではの新しい公共（公民連携）のあり方を模索
2. 自治体間の広域連携の推進
3. 文化芸術活動を存続させるための企業等の理解と事業資金の確保

○取組方針1 連携・協働を推進するプラットフォームづくり

① 現在取り組んでいる主な事業

はちのハ文化のアドバイザリーボード及び庁内関係課連絡会議の開催。

② 今後の方向性の現状と課題

ア) （仮称）八戸アートプラットフォームの設立と当該プラットフォームによる文化芸術に関するセミナーや実践講座等の実施≪新規≫／一部実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・令和4年度にキックオフミーティングを開催、令和5年度はひろば交流会を3回実施。

令和6年度も引き続きひろば交流会を年3回開催し、新規事業として「はちのハートフォーラム」を開催する（文化創造推進課）

イ) 市内で活躍するアーティスト等の見える化とシーズとニーズの効果的なマッチングを図る（仮称）アーティストバンクの設置と運用＜新規＞／検討中(R5)→検討中(R6)

- ・上記ア) の取組を通じて設置、運用を進める。また、市教育委員会も中学校の部活動の地域移行にかかる検討会議を設置しており、連携して取り組む（文化創造推進課）
- ・八戸ゆかりの表現者をよく知る地元文化関係者と美術館がプレゼンター（作家推薦者）となり、作家を選出し紹介する企画「八戸アーティストファイル」を令和7年2月に実施予定。選出作家についてはアーティストカードを作成し「ファイリング」することで多様に参照できる「アーティストファイル（人材ファイル）」とする（美術館）

ウ) 文化行政に関して関連する行政分野との連携調整を図る庁内連絡会議の設置／実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・必要に応じて会議、聞き取りを行い、分野横断的な取組を推進する（文化創造推進課）

○取組方針2 青森県や近隣自治体との広域連携の推進

① 現在取り組んでいる主な事業

青森アートミュージアム5館連携協議会事業や三陸国際芸術祭への参加。

② 今後の方向性の現状と課題

ア) 青森県文化芸術推進計画との事業連携＜新規＞／検討中(R5)→検討中(R6)

- ・施策5プラットフォーム事業への協力を検討している（文化創造推進課）

イ) 青森アートミュージアム5館連携協議会事業の推進＜新規＞／実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・令和6年4月13日から9月1日まで「AOMORI GOKAN アートフェス 2024」を開催。閉幕後は5館及び青森県内の周遊促進にかかる連携事業の検討が必要（美術館）

ウ) 広域行政の枠組みである八戸圏域連携中枢都市圏「スクラム8」や北緯40°ナニヤトヤラ連邦会議での事業連携／未着手(R5)→一部実施済み(R6)（各課）

- ・八戸圏域文化財魅力発信事業における「文化財バトルカード」の配布、出前事業、体験ブース出店、遊び方動画制作・公開を実施（社会教育課）（再掲）
- ・八戸圏域連携中枢都市圏の連携事業である「ブックセンター運営事業」では、令和6年度は三戸町での作家トークショーや田子町立図書館での絵本教室を開催（ブックセンター）

エ) 三陸国際芸術祭への参加／実施済み(R5)→実施済み(R6)

- ・令和6年10月12日から13日まで八戸市において、三陸国際芸術祭三陸芸能大発見サミットを開催（文化創造推進課）

○取組方針3 事業資金確保の取組や企業メセナの推進

① 現在取り組んでいる主な事業

ふるさと寄付金制度を活用したブックセンターにおけるクラウドファンディングや、公会堂事業基金の活用。

② 今後の方向性の現状と課題

- ア) 助成金等事業資金確保手段の多角化と情報提供の充実（見直し・拡充）／未着手(R5)→一部実施済み(R6)（文化創造推進課ほか）
- ・「八戸市公会堂・公民館」ネーミングライツ（施設命名権）スポンサー企業に応募があり、令和6年度中に導入予定（文化創造推進課）
- イ) 新たな資金調達方法としてクラウドファンディングの検討《新規》／一部実施済み(R5)→一部実施済み(R6)
- ・ブックセンターが市で初めてクラウドファンディングを実施した。他の文化施設・事業においても活用を検討（関係課全て）
- ウ) 市の既存の文化関係基金を統合し、文化財保護の目的を加えた文化振興基金の創設《新規》／未着手(R5)→検討中(R6)
- ・基金が、特定の目的のために財産を維持・運用するものであり、その目的に賛同した方からの寄附も含まれていることから、統合は行わない方向で検討中（関係課全て）
- エ) 地場企業が地域メセナ活動への理解を深める機会づくりや文化振興に関するパートナーシップ構築の手法の検討《新規》／未着手(R5)→検討中(R6)
- ・施策6(1)プラットフォーム事業の取組を通じて検討を進める（文化創造推進課）